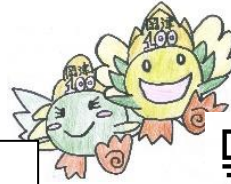




# 岡 津



学校だより 10月号  
令和2年9月30日  
横浜市立岡津小学校  
校長 宮路 ますみ  
TEL 811-4104  
FAX 812-4586

令和2年度のキーワード  
「つなぐ<sup>×3</sup> そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

検索



## いのちの大切さを伝えていこう

校長 宮路 ますみ

新型コロナによるパンデミックが世界的課題となり、各国がそれぞれ感染対策予防に乗り出してから早いもので7ヶ月が過ぎようとしています。本校でも3月3日から3か月にも及ぶ休校を経て、6月からの学校再開。分散授業を経て、今は徐々に平常に戻りつつある状況です。しかし、未だに感染状況は一進一退を繰り返し、毎日50～100人の新規感染者を数えています。子どもたちは暑い中でも毎日マスクを着用し、給食時間は前を向いてしゃべらず食べています。引き続き、清掃は教職員が行っており、元通りの学校生活に戻るのにはもう少し時間がかかりそうです。そんな社会状況の中で、今年度の4、5年生の宿泊体験学習は中止とし、日帰りでの体験学習に変更させていただくという苦渋の決断を致しました。長い期間、校内で実施方法や安全確保の方策等を議論してきましたが、安全を最優先とした結果ですのでご理解・ご協力をお願いします。

コロナ禍にあって、「いのち」について再考させられる機会が何度もありました。それまで普通だと思っていた日常があっけなくコロナによって消え去ってしまう場面を見せられたからでしょうか。また、患者の命を救うために昼夜問わず働く医療従事者への尊敬と感謝の念も改めて抱いています。人間の命は決して無限ではない。だからこそ、今この一瞬を悔いのないよう懸命に生きていかなければならない。今回の出来事は現代社会への警鐘なのでしょうか。

ゲームであれば、気に入らないストーリーはリセットして再スタートすることが可能です。しかし、人間は違います。一度受けた傷は決して消えずに一生残ってしまいます。だからこそ、互いに思いやり傷つけあうことのないように配慮しながら生活していくことが大切です。一時の感情で、「死ね。うざい。消えて。」といった相手の存在を否定する言葉を言うてしまうことは絶対に避けなくてはなりません。相手を大切に思うことは、自分を大切にすることにもつながるのです。

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めています。岡津小学校でも、この憲章でうたっているように、皆が温かい心で支え合い、差別をせず、誰もが安心して通うことのできる学校を目指していきます。それを実行するのは、子どもたち一人ひとりです。ぜひ、ご家庭でもお話いただき、ご指導をよろしくお願いします。

### ともに生きる社会かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

